

議題「多様なライフコースに応じた年金の給付水準の示し方」に関する資料

第 19 回社会保障審議会年金部会 2024 年 11 月 5 日

権丈善一

- 『全世代型社会保障構築会議報告書』2022 年 12 月

いわゆる「就業調整」の問題に対しては、被用者保険適用に伴う短時間労働者の労働時間の延長、基幹従業員として従事することによる企業活動の活性化などの好事例を、業所管省庁の協力を得て積極的に集約するとともに、これらの好事例や具体的なメリットを労働者や事業主が実感できるような広報コンテンツやその活用法について、広報実務の専門家、雇用の現場に詳しい実務家などの参加も得た上で検討・作成し、業所管省庁の協力も得て広範かつ継続的な広報・啓発活動を展開するべきである。



- 「「年収の壁」問題の本質と根本的な解決策」林真奈美氏『読売クオーターリー』2024 冬号

連合総研の調査では、就業調整をしているパートの 4 割以上が、年金額への影響を「知らない」と答えた¹。つまり、目先の手取り額だけ見て、「働き損」というフレーズを真に受けた、いわば誤解に基づく判断なのだ。ラインを超えなければ手取りは減らないが、この先ずっと収入を増やせず、老後の年金も手薄になる。夫の病気や失業、離婚などのリスクを考えれば、被扶養者にとどまる選択は家計を脆弱にする。それが十分に理解されれば、違う行動になるのではないか。ならば、解決策としては、こうした点の広報の強化になろう。ちなみに、被用者保険の適用は雇用契約上の基本給で判断するので、企業を悩ませる年末の就業調整は無意味だ。これも「知らない」ゆえの行動だろう。

年収、年金を含む生涯収入に着目した試み（10 月 1 日の適用拡大にあわせて都内電車のトレインチャンネルや各駅、スーパーなどで放映、今も YouTube、TVer で配信中）

- 東京ライフ×キャリア -将来の生き方、働き方を考えてみませんか？-



- ライフ×キャリア シミュレーター「イフキャリ」 | 東京都

¹ 連合総合生活開発研究所「第 4 5 回勤労者短観（勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート）調査報告書」（2023 年 4 月実施）

